



【ICT活用を充実するための職員研修】

夏季休業、秋季休業を利用して、ICT活用にかかわる職員研修を実施しました。本校は本校舎、分校舎、鳥栖田代分校の3校舎があり、小学部、中学部、高等部の学部、そして様々な教育課程があり、職員が求める情報も様々です。そこで、夏季休業中には2日間(5コマ)、秋季休業中には1日の研修を実施し、職員それぞれのニーズに応じて参加できるようにしました。研修の内容や様子を一部紹介します。

■ 特別支援教育におけるICT活用2021～GIGAとAT～【講義】

文部科学省が進める「GIGA スクール構想」など、教育におけるICT機器活用の動向について研修を行いました。また、その中でも特別支援学校における活用の視点等について重点的に取り上げ、授業等でICT機器を活用する上での基本的な考え方を共有しました。

学校教育でのICT利活用にかかわる近年の動向

- ・ GIGAスクール構想
 - ↳ Society5.0に対応した教育
 - ↳ 一人一台の情報端末を活用した教育環境の実現
 - ↳ 教育ビッグデータの活用
- ・ 学校教育の情報化に関する法律：令和元年6月28日 施行
 - ↳ 情報機器活用の基本的施策
 - ・ 教育の情報化の手引き（令和元年12月）
 - ・ 教育の情報化の手引き—追補版—（令和2年6月）
 - ↳ 新学習指導要領、国の施策方針等への対応
 - ↳ 各学校段階・教科等におけるICTを活用した指導の具体例

特別支援教育におけるICT活用の視点

視点1
教科指導の効果を高めたり、情報活用能力の育成を図ったりするために、ICTを活用する視点

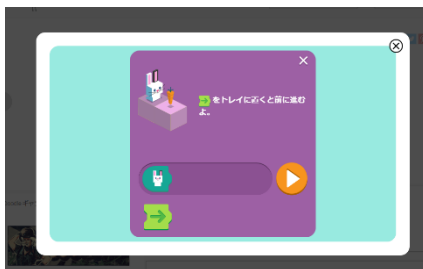
視点2
障害による学習上又は生活上の困難さを改善・克服するために、ICTを活用する視点

- ・ 教科等又は教科等横断的な視点に立った資質・能力であり、障害の有無や学校種を超えた共通の視点。
- ・ 各教科等の授業において、他の児童生徒と同様に実施。
- ・ 自立活動の視点であり、特別な支援が必要な児童生徒に特化した視点。
- ↓
- 各教科及び自立活動の授業において、**個々の実態等に応じて実施。**

©特別支援教育におけるICTの活用について／文部科学省（2020）

■ プログラミング体験【演習】

学習指導要領では、すべての学校段階の児童生徒に対して「情報活用能力」を育てることを規定しており、特別支援学校でも児童生徒に応じて取り組むようになっています。情報活用能力の1つである「プログラミング」について、簡単なビジュアル型のコーディングサイトを使って、体験研修を行いました。



ぜひ体験してみてください



■ Teams オンライン授業体験

新型コロナウイルス感染症による休校措置により、「オンライン授業」という言葉がかなり身近になりました。感染症の対策のみならず、不登校支援や遠隔地との共同学習での活用も注目されています。今回は、Microsoft のオンライン会議システム「Microsoft Teams」を使った、基礎的なオンライン授業の行い方について研修しました。

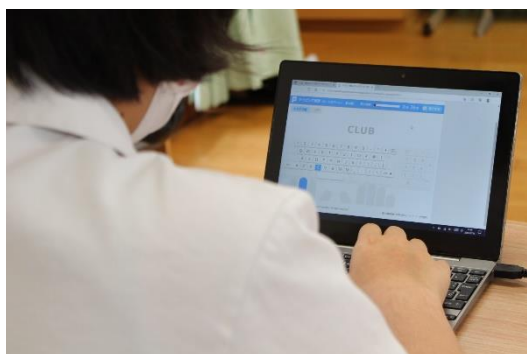


■ 入出力支援装置研修・体験

「GIGAスクール構想」での「人」・「台」端末を有効に活用するため「障害のある児童生徒のための入出力支援装置の整備」も進められています。一般的なマウスやキーボードでの入力が困難であっても、機能を代替するスイッチや視線入力装置などを使用して、端末を学習に活用することができます。それらの機器の一部を紹介するとともに、体験できる機会を設けました。研修後に早速、授業で活用を進めている学級もあるようです。



活用の様子を紹介します



「早く」「正確に」タイピングすることを目標にタイピング練習をしました。



体育では、自分たちの運動の様子を撮影し、教師や友だちとその場で振り返りながら学習しました。



ロボットプログラミング大会に向けてプログラムを作りました。今年度も全国大会出場が決まりました！



音楽では、映像教材に合わせて楽器を演奏する学習をしました。「見て、分かって、楽しい」授業になりました。



鳥栖田代分校中学部では、パラリンピック車いすテニス日本代表 大谷桃子選手とオンライン交流をしました。



体育祭総練習では、体育館の様子を各教室にオンライン配信することで、密集を避けて実施しました。